山都町立潤徳小学校　学校だより

潤徳小伝説～永遠に～

潤徳小HP　令和５年４月１８日（火）　第３号
QRｺｰﾄﾞ←カラーで見られます！　校　長　池部　聖吾智（みわとも）

６年生のリーダーシップとやさしさが歓迎行事の随所に

１４日（金）通潤橋へ歓迎遠足に行く予定でしたが、雨天のため、体育館で歓迎行事のみ実施しました。

今年は、５年生がいないので６年生６人で行事の企画・運営等をしなければなりません。しかし、逆にそのことで一人ひとりが責任をもって取り組んでいるのがよくわかります。

さらに、今回は６年生のステキなところが随所に見られ、ウルっときてしまいました。

○寸劇

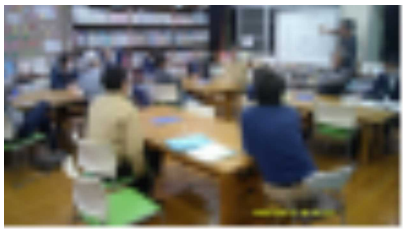
照れずにお笑いに徹したり、（ケガをしないように）転んだりするシーンに、「全力投球」「真剣勝負」する姿がありました。

○なんでもバスケット

下級生に権利を譲る場面やいたわる場面が数多く見られました。ゲーム後半、下級生が勝ち残っていた事実がそのことを示しています。

潤徳小学校閉校記念事業実行委員会立ち上げに向けて

１３日（木）の夜、本校図書室で閉校記念事業に係る第２回準備委員会が行われました。今回は歴代ＰＴＡ会長の方々にも参加していただきました。実行委員長には、初代会長である高松様が推薦され、実行委員会事務局は現ＰＴＡを中心に進めていく方向で話がまとまりました。組織上、校長は「顧問」という形で入っていますが、卒業生名簿等は実質学校が管理していますので、実務にあたることになりそうです。つきましては、現ＰＴＡ会員（必要に応じて過年度会員）も実行委員会組織に所属していただくことになります。２１日のＰＴＡ総会でも話題に挙がる予定です。事情をご理解いただき、ぜひともご協力をお願いします。



潤徳抄Ⅱ

今年の「東西潤徳小コラボ」について（日野）斉藤校長と連絡をとっている。相変わらず本校ＨＰや学校だよりをよく見ておられ「（文面等から）最後の一年という重みを感じ、先生（池部）に悲壮感が漂っている」と話されていた▼それは事実だ。「潤徳小最後の年」という事実を受けとめ、毎日を大切に過ごしている。しかし今年は閉校に向けた取組以外にも大仕事を複数抱えているおかげで、やる気パワーがみなぎっている状態だ▼そして、そのモチベーションを維持すべく「公私とも充実」を心がけている。ご褒美イベント等を先にスケジュールに入れ、その日を楽しみに仕事するのだ▼楽しみがあれば自然と笑顔になる。笑顔は福を招く（笑顔招福）・・どこかで聞いたセリフである。そう、（日野）潤徳小学校のキャッチフレーズである。ちなみに校長室パソコンの背景画面は、斉藤校長とのツーショット写真にしている笑笑